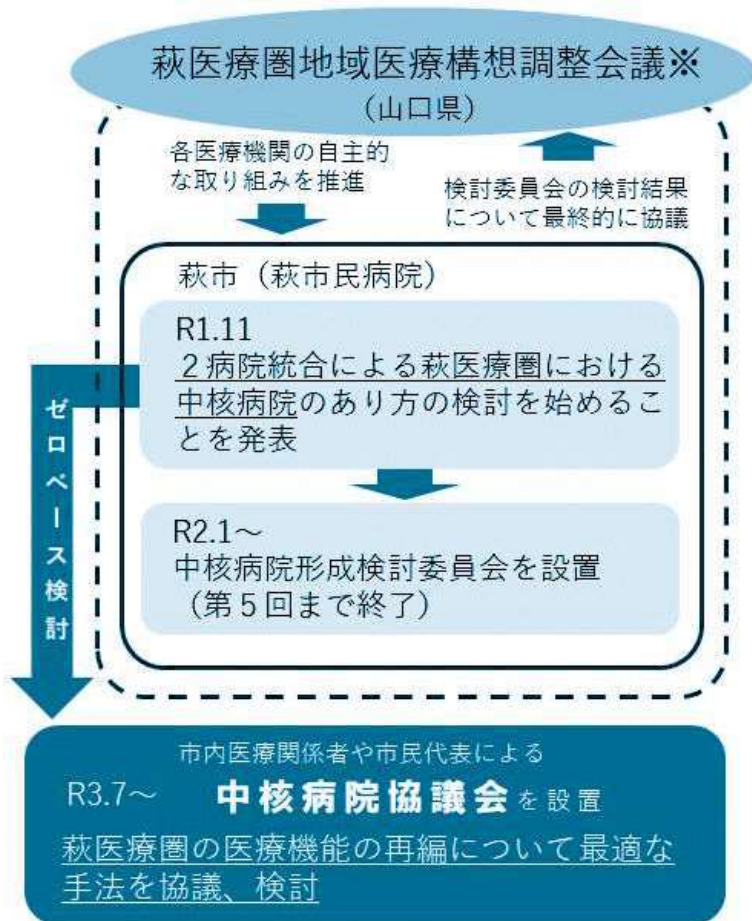


新たに中核病院協議会を設置し、萩の地域医療（急性期医療・二次救急医療など）の現状を踏まえ、地域医療を維持していくにはどのような手法がいいのか、これまでの市民病院と都志見病院の統合案も含め、協議を行っています。

■これまでの検討と中核病院協議会との関連 (イメージ)



※地域医療構想とは

医療圏ごとに、県が2025年(令和7年)における医療需要や必要な病床数を推計し、効率的な医療提供体制を作るための取り組み

※地域医療構想調整会議とは

構想の実現に向け、医療法に基づき県が設ける協議の場(構成員は医療関係者、医療保険者、市町、消防、介護・福祉団体、住民団体等)



★これまでの協議会の概要→



■第1回中核病院協議会 (7月16日開催)

- 議題 萩医療圏における医療機能再編等について
- 委員からの主な意見
 - ・将来の市の財政負担が心配。2病院の統合で、都志見病院の負債を引き継ぐことはないとのことだが、事業譲渡費用に医療法人の負債を上乗せするのではないか。
 - ⇒事業譲渡価格については、2病院の統合の話が進めば、専門業者の査定による適正な価格で交渉することになり、負債の部分は入らない。また、事業譲渡価格の予算は市議会で説明を行う。
 - ・病床数が多いだけでは若い医師は来ない。地域医療に魅力を持っている医師もいるので、そういう医師を探して呼び込む努力が必要
 - ・医師の数は限られており、少しでもやりがいのある病院にして、一人ずつでも増やし、育てていくことが大事。そのためにもある程度の規模の中核病院が必要
 - ・二次救急を維持するためにも医療資源を1箇所に集約した方がよい。
 - ・「2病院が統合しなくてもいい、今更中核病院は必要ない」と考える市民もいる。
 - ・人口が減っても病気になるし、医療は必要。市民に寄り添える病院が身近にあってほしい。

■第2回以降のスケジュール

○第2回中核病院協議会 (8月27日開催)

議題：萩医療圏における医療機能再編等について
※概要については市HPに掲載(QRコード参照)

○今後の協議会のスケジュール (想定)

協議会 (毎月1回程度開催予定)

- ・萩医療圏に必要不可欠な医療機能の確認
- ・公的、中核的病院が担うべき医療機能の確認
- ・医療機能を維持するための手法(パターン)の整理
- ・パターン別の整理

協議会としての方向性について確認、まとめ

市へ報告 (R3.12月末までを目途)

市の方針を判断する際、
地域医療構想調整会議で協議

市としての方針を決定 (R4.3月末までを目途)